

令和7年度
すくわくプログラム活動報告書

(実施対象：3歳児クラス)

モニカ荏原中延園

M  nica

テーマ

アリ

設定理由

戸外活動の際に、地面に黒い物がありそこから「なんだろう？」と考えている姿が見られた。徐々に影ということを知り、動いている影や物の影を探し始め戸外活動で探していた。光と影の性質や仕組み、どうやって作られるかを発見していこうと感じた。

対象クラス

3歳児クラス・6名

活動のねらい

小さな虫の生命を大切にしながら、色々な発見を探していく。

問い

「たくさん穴があるのは何で？」
「いろいろなアリがいるね」

活動期間

令和7年4月～6月

活動回数

計3回

活動①

アリの生態(4/9・4/17・4/30)

活動内容

図鑑を用いて、どんなアリなのか、どんなご飯を食べているのか、どんな家なのかを調べる。また、アリの写真を子どもの見えるところに貼り、アリの部位も知っていく。

活動②

アリの観察 (5/1・5/7・5/8・5/13・5/21)

活動内容

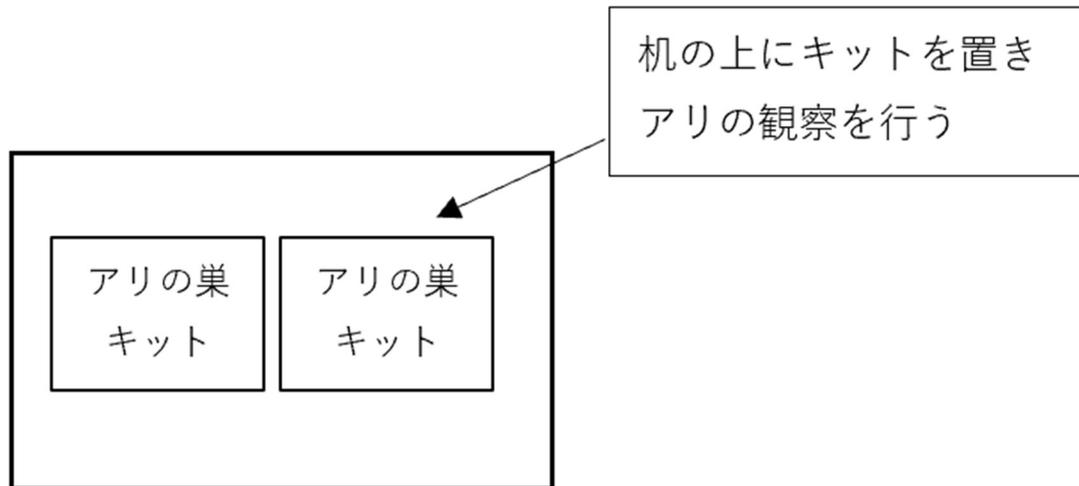
実際に公園に行き、アリを拾って観察をする。アリの巣観察キットにアリを入れ、えさの運び方やアリの巣作り、子どもたちが気になることを実際に見て観察する。

活動③

アリとはどんな生態か？（6/17・6/19・6/23）

活動内容

実際に目で見て得たもので、アリの巣を子どもたちと一緒に作ってみる。



アリがお家にやってきたよ



戸越公園まで、アリを探しに行きました。
砂糖と砂糖水を用意し、アリキャッチャーの中へ...

「アリくるかな？」
「いっぱい入るといいね！」
準備完了です。



数箇所を設置し、アリが入ってくるかが気になり
アリキャッチャーを観察...

「アリいっぱいいるのにねえ」
「ご飯あるよ」

と少し離れて遊んでみることにしました。



中々入らずに帰ろうとした時アリが1匹いました。
「アリがいたよ！」
「砂糖食べてる！！」

3匹のアリがアリキャッチャーに入っていました。
3匹を保育園に連れて帰ることに...!



帰ってきてから、拾ったアリを観察しました。
「歩くのが速いね！」

どこにアリがいるかを探して楽しんでいました。



アリのお家に引っ越しができました。
子供達も興味津々で
「ここにお水あるよ」
「ここ通らないかな？」
「ゼリーの上歩いてる！」

とアリの動きに釘付けです。
今後のアリの巣の変化も楽しみです。

たくさんの穴みーつけ！

R7.4.11 きりん組 齋藤



ある日の散歩で、何かを見つけました。
「見てみて！アリの巣あったよ！」
「え！どこに??」
と、みんなでアリの巣探しを始めました。

恐る恐る近づいてみると...??

「あ！！アリいた！！！」
お友達みんなに声をかけ、
アリとアリの巣を観察し始めました。
「アリさん、土の中がお家なのかな??」
「じゃあ外にいるから今はお散歩しているんだね！」
と、お話をしていました。



みんなでじーっとアリの巣を観察中...
「ありさーん！！！！」
「出てきてよー！！」
とアリに声をかけています。

たくさんアリの巣を見つけられて
大喜びな子どもたちです。



指をさしてアリの巣の場所を教え
てくれました。たくさん巣がありす
ぎて全部は見切れませんでした
が、これからも様々な公園や道でア
リの巣を発見して行きたいと思
います。



アリの研究

R7.5.2 きりん組 齋藤

アリの図鑑が届いたので
みんなで見てみることにしました。
図鑑を開くと
「ありがっぱいいるよ！」
「絵本のアリはすごく大きいんだね！」
と、さまざまなアリに大興奮の子どもたち。

アリの部位についてちょこっと研究です。



「頭どこだと思う？」の問いかけに
「頭ここ！なんか角みたいなのあるねえ」

と指をさして教えてくれました。

「ここはお腹？胸？」
とお友だち同士で質問しあっていました。
「足が1、2、3...6本もあるよ！！」
と足が6本あることも発見！

アリの部位についてちょこっと学びました。



公園のアリを思い出しながら、最後はアリの絵を描きました。

「アリの色は黒！」
とクレヨンを持ち、思い思いに絵を描きました。

大きいアリを描いたり
アリの巣やアリの足の本数を細かく描いている子もいます。

これからも子どもたちの発見を見守りつつ
一緒に学んでいきたいと思ひます。



使用物

アリ | アリ飼育キット(2) | アリキャッチャー(3) | アリの図鑑『ぜんぶわかる！アリ』
ルーペ(5) | 画用紙 | クレヨン | はさみ | 記録用iPhone

テーマ：アリ

全体の振り返り

初めはただアリに興味を持っているだけの子どもたちだったが、次第にアリの生態について興味を持って絵本や実際にアリに触れて知ろうとする姿が多くみられた。アリも人間と同じように生きているということもわかり命の大切さを感じることができていた。アリ以外の虫も大切にしようとする姿があった。

終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル 3F
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ荏原中延園

〒142-0052
東京都品川区東中延1-6-2
TEL:03-6421-6740
FAX:03-6421-6741